



FRANKLIN
TEMPLETON

LM・オーストラリア高配当株ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第17期 決算日 2021年9月21日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年6月28日～2031年9月22日まで	
運用方針	主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年3月20日及び9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・オーストラリア高配当株ファンド（年2回決算型）」は、2021年9月21日に第17期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

(旧：レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社)

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		税込 分配 金	期騰 落率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
13期(2019年9月20日)	13,328	0	1.1	84.8	—	13.0	22,380
14期(2020年3月23日)	7,795	0	△41.5	86.6	—	9.9	15,632
15期(2020年9月23日)	10,665	0	36.8	84.6	—	12.4	21,448
16期(2021年3月22日)	14,543	0	36.4	85.0	—	13.0	22,006
17期(2021年9月21日)	14,674	0	0.9	83.7	—	14.2	16,517

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率
		騰落 率	騰落 率			
(期首)	円	%	%	%	%	%
2021年3月22日	14,543	—	85.0	—	13.0	
3月末	14,569	0.2	85.4	—	13.1	
4月末	14,981	3.0	86.3	—	13.4	
5月末	15,180	4.4	86.3	—	13.2	
6月末	15,043	3.4	85.2	—	13.0	
7月末	14,696	1.1	86.7	—	12.6	
8月末	14,989	3.1	85.6	—	13.5	
(期末)						
2021年9月21日	14,674	0.9	83.7	—	14.2	

(注) 騰落率は期首比です。

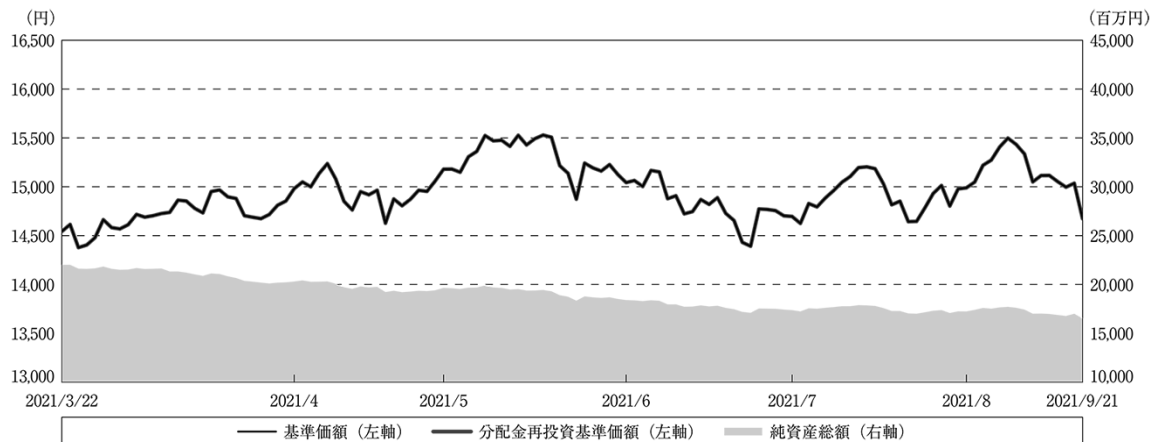
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年3月23日～2021年9月21日)



期首：14,543円

期末：14,674円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 0.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年3月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。株式市場の上昇を受けて株式要因がプラスとなりましたが、為替要因については、豪ドル安・円高を反映してマイナス寄となりました。

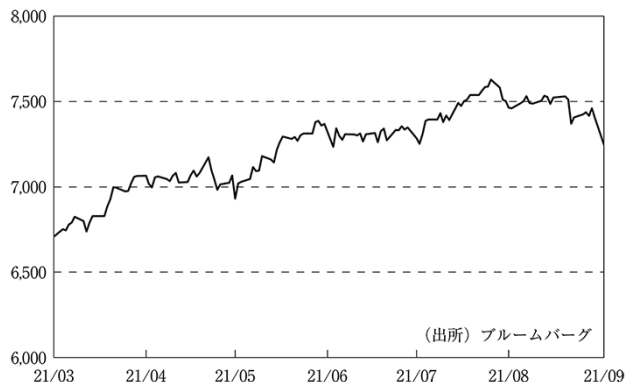
当期のオーストラリア株式市場は、上昇しました。

期の前半は、新型コロナウイルス感染拡大への懸念がある中、オーストラリア準備銀行（RBA）が長期にわたって低金利政策を維持する方針を示したことや、経済活動の正常化期待などから株価は堅調となりました。

期の半ばは、複数の大都市等でロックダウンが実施されるなど、引き続きコロナ禍に対する懸念が継続する一方で、海外において新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、世界の経済活動正常化への期待が高まったほか、オーストラリアにおいても実質国内総生産（GDP）や雇用統計などの経済統計が順調な景気回復を示すなど、ファンダメンタルズの堅調さが意識されたことなどを背景に、株価は続伸しました。

期の後半は、好調な企業決算発表への期待や、米連邦準備制度理事会（FRB）による早期のテーパリング（量的緩和の縮小）開始の懸念が和らぎ、米国株式市場が堅調となったことなどから、オーストラリア株式市場は一段と上昇しました。しかしその後は、鉄鉱石価格が下落基調で推移したことや、中国恒大集団の債務問題などが意識され、株価は軟調な展開となりました。

オーストラリア株式指数（ASX200）の推移



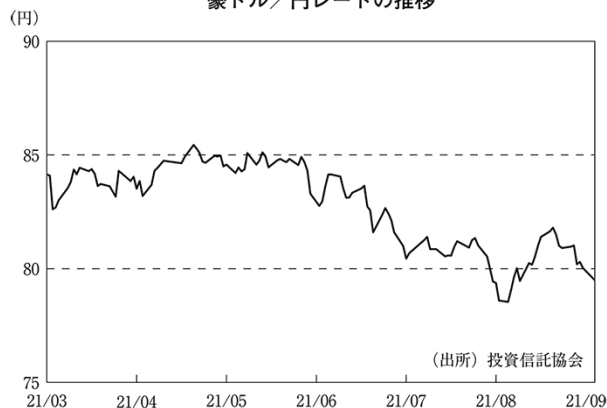
当期の豪ドル・円相場は、豪ドル安・円高となりました。

期の前半は、新型コロナウイルス感染拡大への懸念や、RBAが長期にわたって低金利政策を維持する方針を示したことなどが豪ドル相場の重しとなりましたが、鉄鉱石を始めとした資源価格の上昇や良好な経済ファンダメンタルズなどから、豪ドル買い・円売りが進みました。

期の半ばは、FRBが金融政策についてタカ派的な姿勢を示したことから、豪ドルは対米ドル、対円で下落しました。さらに、RBAの金融政策がハト派的にとらえられたことや、大都市におけるロックダウンなどが経済に与える影響が懸念され、豪ドル安が進みました。

期の後半は、良好な貿易統計などを背景に豪ドルが下支えされる場面もありましたが、鉄鉱石価格の下落や債券利回りの低下などを受け、豪ドルは軟調に推移しました。その後、良好な経済指標や新型コロナウイルスワクチン接種の進展などを好感して豪ドルは堅調となりましたが、RBAが理事会においてテーパリングを予定通り実施した一方で、債券買い入れ期間を延長すると発表したことがハト派的と受け止められ、下落に転じました。

豪ドル／円レートの推移



当ファンドは、主に「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいります。また、組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

分配金

(2021年3月23日～2021年9月21日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第17期
	2021年3月23日～ 2021年9月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,200

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月23日～2021年9月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 136	% 0.916	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(66)	(0.441)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(66)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.030	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.027)	
（ 投 資 証 券 ）	(0)	(0.003)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.013	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.005)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	143	0.959	
期中の平均基準価額は、14,909円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

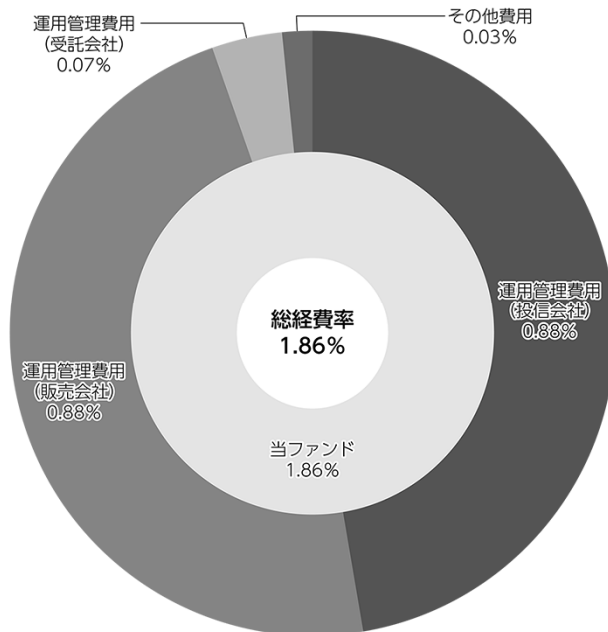
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月23日～2021年9月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	千口 565,508	千円 1,672,340	千口 2,599,212	千円 7,676,549

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年3月23日～2021年9月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	LM・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	88,501,231千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	336,163,121千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月23日～2021年9月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2021年3月23日～2021年9月21日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年3月23日～2021年9月21日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年9月21日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	千口 7,751,961	千口 5,718,258	千円 16,692,167

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年9月21日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	千円 16,692,167	% 99.3
コール・ローン等、その他	114,468	0.7
投資信託財産総額	16,806,635	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(348,650,248千円)の投資信託財産総額(350,800,880千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=79.49円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月21日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	16,806,635,700	
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド(評価額)	16,692,167,534	
未収入金	114,468,166	
(B) 負債	289,572,885	
未払解約金	114,468,166	
未払信託報酬	173,447,555	
その他未払費用	1,657,164	
(C) 純資産総額(A-B)	16,517,062,815	
元本	11,255,663,815	
次期繰越損益金	5,261,399,000	
(D) 受益権総口数	11,255,663,815口	
1万口当たり基準価額(C/D)	14,674円	

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

15,132,222,386円

期中追加設定元本額

1,120,003,793円

期中一部解約元本額

4,996,562,364円

○損益の状況 (2021年3月23日～2021年9月21日)

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	284,757,738	
売買益	486,191,122	
売買損	△ 201,433,384	
(B) 信託報酬等	△ 175,104,719	
(C) 当期損益金(A+B)	109,653,019	
(D) 前期繰越損益金	1,699,762,596	
(E) 追加信託差損益金	3,451,983,385	
(配当等相当額)	(5,039,495,309)	
(売買損益相当額)	(△1,587,511,924)	
(F) 計(C+D+E)	5,261,399,000	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	5,261,399,000	
追加信託差損益金	3,451,983,385	
(配当等相当額)	(5,045,115,569)	
(売買損益相当額)	(△1,593,132,184)	
分配準備積立金	1,934,412,935	
繰越損益金	△ 124,997,320	

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期	円
(A) 配 当 等 取 益(費用控除後)	234,650,339円	
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	
(C) 収 益 調 整 金	5,045,115,569	
(D) 分 配 準 備 積 立 金	1,699,762,596	
分 配 対 象 取 益 額(A+B+C+D)	6,979,528,504	
(1 万 口 当 たり 取 益 分 配 対 象 額)	(6,200)	
取 益 分 配 金	0	
(1 万 口 当 たり 取 益 分 配 金)	(0)	

<お知らせ>

<合併について>

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更致しました。

<主な約款変更に関するお知らせ>

当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である親投資信託「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」の信託約款中の委託者名を「レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)

LM・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用状況のご報告

第10期 決算日 2021年9月21日

(計算期間：2020年9月24日～2021年9月21日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」の第10期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を中心に投資を行います。 2. 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
6期(2017年9月20日)	26,288	26.4	81.4	—	13.8	993,903
7期(2018年9月20日)	25,709	△2.2	82.7	—	13.1	673,552
8期(2019年9月20日)	25,436	△1.1	84.1	—	12.9	543,399
9期(2020年9月23日)	20,851	△18.0	83.8	—	12.3	379,575
10期(2021年9月21日)	29,191	40.0	82.8	—	14.1	349,369

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2020年9月23日	20,851	—	83.8	—	12.3
9月末	21,625	3.7	84.9	—	12.7
10月末	21,194	1.6	86.7	—	12.6
11月末	25,005	19.9	84.8	—	14.1
12月末	25,574	22.7	84.7	—	14.1
2021年1月末	26,088	25.1	85.7	—	13.7
2月末	27,900	33.8	85.5	—	13.2
3月末	28,722	37.7	85.3	—	13.1
4月末	29,579	41.9	86.1	—	13.4
5月末	30,018	44.0	86.0	—	13.2
6月末	29,793	42.9	84.8	—	12.9
7月末	29,154	39.8	86.0	—	12.5
8月末	29,779	42.8	84.8	—	13.4
(期末) 2021年9月21日	29,191	40.0	82.8	—	14.1

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年9月24日～2021年9月21日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。株式市場の上昇を受け、株式要因がプラスとなったことが影響しました。また、為替要因については、豪ドル高・円安を反映してプラス寄与となりました。

当期のオーストラリア株式市場は、上昇しました。

期の前半は、オーストラリア準備銀行（RBA）による追加緩和期待が高まり債券利回りが低下したことなどを受けて、株式市場は上昇しました。欧米での新型コロナウイルス感染再拡大を受け、株価は下落する場面も見られましたが、新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待や、新型コロナウイルスのワクチンの普及による経済活動正常化への期待などから、底堅く推移しました。

期の半ばは、新型コロナウイルス感染拡大への警戒感が残る一方、主要国での新型コロナウイルスのワクチン普及による景気回復への期待感などから、株価は底堅く推移しました。RBAが長期にわたって低金利政策を維持する方針を示したことや、経済活動の正常化期待なども株価の上昇につながりました。

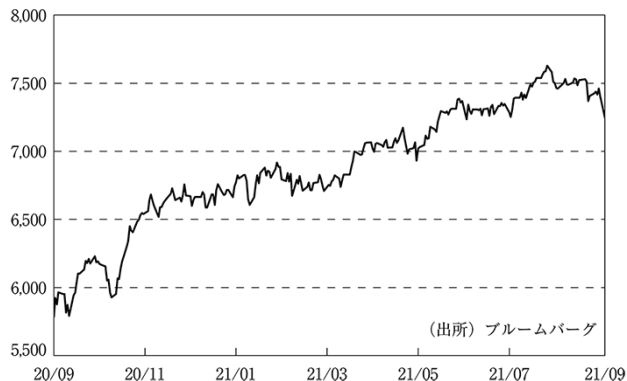
期の後半は、複数の大都市等でロックダウンが実施されるなど、引き続きコロナ禍に対する懸念が継続する一方で、世界の経済活動正常化への期待が高まったほか、オーストラリアにおいても実質国内総生産（GDP）や雇用統計などの経済統計が順調な回復を示すなど、ファンダメンタルズの堅調さが意識されたことなどを背景に、株価は続伸しました。しかしその後は、鉄鉱石価格が下落基調で推移したことや、中国恒大集団の債務問題などが意識され、株価は軟調な展開となりました。

当期の豪ドル・円相場は、豪ドル高・円安となりました。

期の前半は、RBAが追加の金融緩和を進める中、豪ドルは対円で下落しましたが、新型コロナウイルスワクチン普及への期待が高まると、反発しました。その後、新型コロナウイルスワクチンの普及による経済活動正常化への期待が意識される中、豪ドル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、米国国債利回り上昇の影響を受けてオーストラリア国債利回りが上昇し、

オーストラリア株式指数（ASX200）の推移



豪ドル／円レートの推移



豪ドル買い・円売りが優勢となりました。その後、新型コロナウイルス感染拡大への懸念や、RBAが長期にわたって低金利政策を維持する方針を示したことなどが豪ドル相場の重しとなりましたが、鉄鉱石を始めとした資源価格の上昇や良好な経済ファンダメンタルズなどを背景に、豪ドル買い・円売りが進みました。

期の後半は、RBAの金融政策がハト派的にとらえられたことや、大都市におけるロックダウンなどが経済に与える影響が懸念され、豪ドル安が進みました。その後、堅調な2021年4－6月期GDPや新型コロナウイルスワクチン接種の進展などを好感して豪ドルは堅調となりましたが、RBAがテーパリングを実施した一方で、債券買い入れ期間を延長すると発表したことがハト派的と受け止められ、下落に転じました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年9月24日～2021年9月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 証 券)	円 15 (14) (1)	% 0.055 (0.050) (0.004)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.008 (0.008)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	17	0.063	
期中の平均基準価額は、27,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月24日～2021年9月21日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 784,252 (△ 52,950)	千オーストラリアドル 275,243 ()	百株 2,440,116 ()	千オーストラリアドル 1,890,724 (9,395)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外	百口	千オーストラリアドル	百口	千オーストラリアドル
オーストラリア				
CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	10,939	4,159
STOCKLAND	—	—	269,912	121,234
GPT GROUP	—	—	16,408	7,738
SCENTRE GROUP	—	—	131,261	36,446
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	20,142	5,129	16,471	4,233
DEXUS/AU	—	—	7,621	6,856
VICINITY CENTRES	60,396	9,927	47,945	7,782
小 計	80,538	15,056	500,560	188,449

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2020年9月24日～2021年9月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	175,077,108千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	340,642,799千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月24日～2021年9月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年9月21日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円		
AUST AND NZ BANKING GROUP	140,380	90,484	245,574	19,520,740	金融	
WESTPAC BANKING CORP	92,525	69,399	175,579	13,956,824	金融	
TELSTRA CORP LTD	754,104	575,450	223,274	17,748,115	コミュニケーション・サービス	
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	67,225	46,415	43,213	3,435,001	金融	
COCA-COLA AMATIL LTD	182,471	—	—	—	生活必需品	
ASX LTD	8,336	4,450	36,779	2,923,602	金融	
BHP GROUP LTD	67,629	42,903	161,018	12,799,335	素材	
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	343,999	277,583	136,016	10,811,914	一般消費財・サービス	
TRANSURBAN GROUP	54,670	44,726	63,421	5,041,386	資本財・サービス	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	28,854	16,210	163,422	12,990,461	金融	
APA GROUP	157,261	87,812	77,977	6,198,408	公益事業	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	214,488	122,038	61,019	4,850,423	金融	
G. U. D. HOLDINGS LTD	34,600	33,135	33,698	2,678,730	一般消費財・サービス	
GWA GROUP LTD	118,815	109,659	28,621	2,275,094	資本財・サービス	
SUNCORP GROUP LTD	159,567	127,258	157,800	12,543,560	金融	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	132,144	80,407	219,835	17,474,686	金融	
JB HI-FI LTD	34,107	24,719	109,729	8,722,426	一般消費財・サービス	
IOOF HOLDINGS LTD	330,043	236,319	97,599	7,758,206	金融	
QBE INSURANCE GROUP LTD	61,759	—	—	—	金融	
TABCORP HOLDINGS LTD	208,046	191,825	91,884	7,303,892	一般消費財・サービス	
WESFARMERS LTD	25,326	12,279	69,872	5,554,157	一般消費財・サービス	
ALUMINA LTD	—	422,039	85,674	6,810,232	素材	
WOODSIDE PETROLEUM LTD	38,023	35,526	73,114	5,811,839	エネルギー	
WOOLWORTHS GROUP LTD	26,791	16,789	65,833	5,233,071	生活必需品	
SUPER RETAIL GROUP LTD	—	22,130	26,533	2,109,183	一般消費財・サービス	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	635,101	381,884	107,309	8,530,043	公益事業	
MACQUARIE GROUP LTD	7,016	5,476	95,128	7,561,788	金融	
AURIZON HOLDINGS LTD	373,469	406,890	152,177	12,096,566	資本財・サービス	
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	191,439	169,575	70,543	5,607,483	一般消費財・サービス	
PENDAL GROUP LTD	58,214	61,684	51,259	4,074,636	金融	
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	749,819	401,572	103,605	8,235,620	コミュニケーション・サービス	
IOOF HOLDINGS LTD	80,836	—	—	—	金融	
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALI	—	44,147	29,049	2,309,129	生活必需品	
AUSNET SERVICES	595,082	550,788	129,986	10,332,588	公益事業	
MEDIBANK PRIVATE LTD	527,708	476,981	167,420	13,308,268	金融	
AGL ENERGY LTD	158,794	101,628	54,168	4,305,816	公益事業	
VIVA ENERGY GROUP LTD	441,569	110,431	24,184	1,922,432	エネルギー	
COLES GROUP LTD	87,361	56,805	96,229	7,649,243	生活必需品	
ATLAS ARTERIA	—	81,815	54,325	4,318,313	資本財・サービス	
INGHAMS GROUP LTD	198,978	138,500	56,231	4,469,823	生活必需品	
合 計	株 数	金 額	7,386,566	5,677,752	3,639,112	289,273,051
	銘柄 数 < 比 率 >		36	37	—	<82.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額	
(オーストラリア)	百口	百口	千オーストラリアドル	千円	%
CHARTER HALL RETAIL REIT	117,050	106,111	42,019	3,340,167	1.0
GPT GROUP	155,486	139,078	68,982	5,483,450	1.6
STOCKLAND	564,744	294,831	138,276	10,991,563	3.1
DEXUS/AU	32,849	25,228	27,145	2,157,795	0.6
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	200,536	204,207	57,790	4,593,782	1.3
SCENTRE GROUP	677,070	545,808	159,922	12,712,201	3.6
VICINITY CENTRES	733,028	745,478	125,240	9,955,363	2.8
合 計	2,480,766	2,060,744	619,377	49,234,324	
口数・金額 銘柄数<比率>	7	7	—	<14.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年9月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 289,273,051	82.5%
投資証券	49,234,324	14.0
コール・ローン等、その他	12,293,504	3.5
投資信託財産総額	350,800,880	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(348,650,248千円)の投資信託財産総額(350,800,880千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=79.49円です。

○特定資産の価格等の調査

(2020年9月24日～2021年9月21日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月21日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	355,772,979,883	
コール・ローン等	6,993,384,276	
株式(評価額)	289,273,051,747	
投資証券(評価額)	49,234,324,745	
未収入金	5,714,760,653	
未収配当金	4,557,458,462	
(B) 負債	6,403,590,934	
未払金	4,972,099,500	
未払解約金	1,431,486,103	
未払利息	5,331	
(C) 純資産総額(A-B)	349,369,388,949	
元本	119,682,684,810	
次期繰越損益金	229,686,704,139	
(D) 受益権総口数	119,682,684,810口	
1万口当たり基準価額(C/D)	29,191円	

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	182,041,889,294円
期中追加設定元本額	14,675,351,035円
期中一部解約元本額	77,034,555,519円

(注) 期末における元本の内訳

LM・オーストラリア高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	58,263,056,473円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	55,500,657,990円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(年2回決算型)	5,718,258,208円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(為替ヘッジあり)(毎月分配型)	101,428,685円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)	99,283,454円

○損益の状況 (2020年9月24日～2021年9月21日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	18,577,824,384	
受取配当金	18,556,938,621	
受取利息	41,074	
その他収益金	22,489,974	
支払利息	△ 1,645,285	
(B) 有価証券売買損益	119,998,237,212	
売買益	132,919,150,497	
売買損	△ 12,920,913,285	
(C) 保管費用等	△ 31,179,520	
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	138,544,882,076	
(E) 前期繰越損益金	197,533,149,029	
(F) 追加信託差損益金	23,204,540,216	
(G) 解約差損益金	△129,595,867,182	
(H) 計(D+E+F+G)	229,686,704,139	
次期繰越損益金(H)	229,686,704,139	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<合併について>

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・templton・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更致しました。

<主な約款変更に関するお知らせ>

信託約款中の委託者名を「レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)